

20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・Dx推進室を設置し、ICTやAIを活用して教職員の業務の効率化と働き方改革を推進し、デジタルとキャンパスを融合したe-キャンパスの構築を目指している。								8	9.1			11	12				
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●			3	4					8	9				12				

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・環境マネジメントマニュアルを策定し、学内で発生する廃棄物は適切に分別され、収集業者により回収・処理されていることを書面で確認している。			3.9							11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・学内のエネルギー消費量を把握し、電力デマンドの管理、使用設備(エアコン、照明器具、エレベータ等エネルギー消費機器等)については、更新・改修の際に高効率機器を採用するなど、中長期的な計画に基づき実施している。													13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・省エネ法、温対法に基づく定期報告の中で、学内のエネルギー使用量やCO2排出量を把握し、更新・改修の際にセントラル空調熱源を電気式ビルマルチ空調に熱源転換する等、CO2排出量を抑制している。			2.4									12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・遺伝子組換え実験安全管理規則を定め、安全委員会の下、遺伝子組換え生物等の安全管理に取り組んでいる。															14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・廃棄物の中から利用可能なものをさらに分別し、学内に再利用を呼び掛けている。 ・ペーパーレス化、裏紙利用を推進している。 ・公用車をハイブリッド車や小型車に随時変更している。								9.4				12.2 12.4 12.5			14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・水回りの改修の際、節水器具(節水コマ)等を設置する等、水資源の保全に取り組んでいる。 ・節水を呼び掛ける掲示等の啓発運動を行っている。			2.4								11.5				14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・学内の蛍光灯、街路灯(水銀灯)、高天井用途の照明器具を更新・改修の際にLED化している。また、空調設備においても、更新・改修の際に高COP型の機器に変更している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	・学生食堂において、小盛オーダーを可能とし、テイクアウトの対応を行っている。		1	2												12.3	14	15	17			
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・大学校地内山林の間伐、剪定の実施については、熊本市緑地保全条例に基づき適正な保全・管理を行っている。												11.6 11.7			13.1 13.3	15		17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・大学用地を外部企業に提供して太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを供給している。 ・エネルギー消費機器の更新の際は、更新による省エネ量を把握するよう努めている。											9.4	11.5			13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●													6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●	・サークル活動を通じて学内の植栽に取り組んでいる。												6.1 6.3 6.6				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																	12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●	・通学用の循環バスを運行している。											9.4	11.2			13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																	7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.6 11.a	12.8	13		17.17

